

エコドライブを^{じっ せん}実践しましょう ①

自動車の使用による二酸化炭素排出量は家庭の総排出量の約30%を占めています。
加減速の少ない運転やアイドリングストップを心がければ、二酸化炭素の排出を減らすことができます。

>> 1. ふんわりアクセル『eスタート』

「やさしい発進を心がけましょう。」

普通の発進より少し緩やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。



>> 2. 加減速の^{か げん そく}少ない^{うん てん}運転

「車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分、市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。



>> 3. 早^{はや}めのアクセルオフ

「早めのアクセルオフを心がけましょう。」

早めにアクセルオフをすると、燃料の供給が停止（燃料カット）されるので、2%程度燃費が改善されます。信号が赤になったら、早めにアクセルから足を離して、走行しましょう。



>> 4. エアコンの使用は^{し ょう ひか}控えめに

「車内は冷やし過ぎないようにしましょう。」

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。



>> 5. アイドリングストップ

「無^む用なアイドリングをやめましょう。」

10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で130cc程度の燃料を浪費します（130ccの燃料で1,300m走行できます）。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐停車の際にはアイドリングを止めましょう。

